



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 3877 URL <https://www.chuetsu-pulp.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 福本 亮治
問合せ先責任者（役職名） 経営管理本部副本部長（氏名） 秋永 吉男 TEL 0766-26-2404
兼管理部長
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	53,052	△4.5	1,355	△56.6	1,554	△48.1	982	△52.0
2025年3月期中間期	55,572	5.9	3,126	△5.4	2,997	△21.0	2,044	△20.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,674百万円（△35.3%） 2025年3月期中間期 2,587百万円（△17.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	78.23	—
2025年3月期中間期	157.88	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	117,878	57,204	49.3	4,628.89
2025年3月期	121,888	55,941	46.7	4,533.15

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 58,164百万円 2025年3月期 56,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	40.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	△0.9	3,700	△23.6	4,100	△19.8	2,700	53.3	215.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	13,354,688株	2025年3月期	13,354,688株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	789,148株	2025年3月期	805,627株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	12,553,739株	2025年3月期中間期	12,949,494株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、第2四半期(中間期)決算短信(添付資料)4ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経済環境は、円安を背景にインバウンド需要が堅調に推移したほか、企業の設備投資意欲も底堅く、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇、海外経済の減速、地政学リスクの高まり、米国関税政策の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のなか当社グループは、マシンの安定操業、効率生産による原価低減に取り組みました。

これらにより、当中間連結会計期間の営業成績につきましては、デジタル化や人口減少などの影響によるグラフィック用紙需要の減少が続くなか、海外市況悪化によるパルプ輸出価格の下落や紙需要の減退などもあり、売上高は53,052百万円と前期と比較し4.5%減収となり、収益面では、上記販売要因に加え、固定費の増加などにより、営業利益は1,355百万円と56.6%減少、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益についても減益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	53,052 百万円	(前年同期比 4.5%減)
連結営業利益	1,355 百万円	(前年同期比 56.6%減)
連結経常利益	1,554 百万円	(前年同期比 48.1%減)
親会社株主に帰属する中間純利益	982 百万円	(前年同期比 52.0%減)

(紙・パルプ製造事業)

紙需要の減退による生産・販売数量が減少したことやパルプ価格が下落したことなどにより、減収・減益となりました。

◎ 新聞用紙

新聞各社における夕刊廃止と発行部数の減少に加え、広告出稿減等により頁数も低調に推移するなど全体的な需要減少が続いていますが、他社が事業から撤退したことに伴う一部振替需要もあり、数量、金額ともに前期並みになりました。

◎ 印刷用紙

国内販売につきましては、デジタル化による各種出版物の減少および企業・自治体におけるオフィス需要の不振等により数量、金額ともに前期を下回りました。輸出につきましては、アジア地域の需要減に加え、中国国内需要の減退に伴う輸出圧力の強まりもあり、数量、金額ともに前期を下回りました。

◎ 包装用紙

国内販売につきましては、ファストフード需要は堅調に推移しましたが、石油化学をはじめとした製袋需要の落ち込みにより、数量、金額ともに前期を下回りました。輸出につきましては、アジア地域の需要減に加え、中国からの輸出圧力も強まり、数量、金額ともに前期を下回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

壁紙は、住宅着工件数の減少に伴い数量、金額ともに前期を下回りました。板紙及び加工品は、前期の顧客による在庫積み増しの反動を受けて数量、金額ともに前期を下回りました。また、衛生用紙は、積極的に販売に取り組んだことにより数量、金額ともに前期を上回りました。

◎ パルプ

海外市況悪化等により、数量、金額ともに前期を下回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	48,196 百万円	(前年同期比 5.4%減)
連結営業利益	879 百万円	(前年同期比 65.6%減)

(発電事業)

売上高は前期並みでしたが、燃料価格の上昇等により減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	2,803 百万円	(前年同期比 0.1%減)
連結営業利益	250 百万円	(前年同期比 20.3%減)

(その他)

建設関連事業の受注が増加したことなどにより売上高は前期を上回りました。利益については、人件費上昇などによる諸費用増を建設関連事業受注増やコスト削減の取り組みなどでカバーしきれず減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	8,762 百万円	(前年同期比 4.5%増)
連結営業利益	202 百万円	(前年同期比 13.8%減)

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

現金及び預金が4,928百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、117,878百万円となりました。

(負債)

金融機関からの借入金が2,824百万円、支払手形及び買掛金が2,065百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べて8.0%減少し、60,674百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、57,204百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金865百万円の増加と、親会社株主に帰属する中間純利益982百万円により利益剰余金が増加したことによります。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.6ポイント増加し、49.3%となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は422百万円(前年同期比86.7%減)となりました。

これは主として、税金等調整前中間純利益1,429百万円、減価償却費3,084百万円による収入と、仕入債務の減少額2,063百万円、棚卸資産の増加額1,740百万円の支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,094百万円(前年同期比41.3%減)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出2,270百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,277百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出2,824百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、当中間連結会計期間の実績及び足元の状況を鑑み、2025年5月15日に公表した通期連結業績予想等を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,005	4,076
受取手形、売掛金及び契約資産	26,090	24,927
商品及び製品	10,353	11,096
仕掛品	654	684
原材料及び貯蔵品	6,179	7,147
その他	2,333	2,282
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	54,612	50,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,780	53,913
減価償却累計額	△38,753	△39,313
建物及び構築物(純額)	15,026	14,600
機械装置及び運搬具	246,642	248,845
減価償却累計額	△219,929	△221,505
機械装置及び運搬具(純額)	26,713	27,339
その他	12,261	11,936
減価償却累計額	△3,106	△3,161
その他(純額)	9,154	8,774
有形固定資産合計	50,894	50,714
無形固定資産		
その他	192	213
無形固定資産合計	192	213
投資その他の資産		
投資有価証券	11,651	12,956
その他	4,595	3,840
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	16,188	16,738
固定資産合計	67,275	67,667
資産合計	121,888	117,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,928	14,863
短期借入金	28,603	27,493
未払法人税等	569	472
賞与引当金	572	577
災害損失引当金	124	12
その他	5,304	5,103
流動負債合計	52,103	48,523
固定負債		
長期借入金	8,494	6,780
環境対策引当金	80	49
関係会社事業損失引当金	43	37
退職給付に係る負債	5,057	5,118
その他	166	165
固定負債合計	13,843	12,151
負債合計	65,946	60,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,260
利益剰余金	19,267	19,810
自己株式	△1,014	△993
株主資本合計	53,370	53,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,687	3,552
為替換算調整勘定	275	130
退職給付に係る調整累計額	552	540
その他の包括利益累計額合計	3,515	4,223
非支配株主持分	△945	△960
純資産合計	55,941	57,204
負債純資産合計	121,888	117,878

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	55,572	53,052
売上原価	46,342	45,679
売上総利益	9,230	7,372
販売費及び一般管理費		
販売手数料	58	54
運搬費	3,500	3,401
保管費	757	798
その他	1,787	1,762
販売費及び一般管理費合計	6,104	6,017
営業利益	3,126	1,355
営業外収益		
受取利息	27	29
受取配当金	101	124
為替差益	—	12
持分法による投資利益	182	152
その他	81	84
営業外収益合計	393	402
営業外費用		
支払利息	138	167
為替差損	341	—
その他	42	36
営業外費用合計	521	204
経常利益	2,997	1,554
特別利益		
固定資産売却益	1	3
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産除却損	179	110
減損損失	—	18
その他	1	—
特別損失合計	181	128
税金等調整前中間純利益	2,818	1,429
法人税、住民税及び事業税	671	404
法人税等調整額	112	57
法人税等合計	783	462
中間純利益	2,034	966
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△10	△15
親会社株主に帰属する中間純利益	2,044	982

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,034	966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225	804
退職給付に係る調整額	291	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	36	△85
その他の包括利益合計	553	707
中間包括利益	2,587	1,674
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,597	1,689
非支配株主に係る中間包括利益	△10	△15

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,818	1,429
減価償却費	3,062	3,084
減損損失	—	18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	△0
受取利息及び受取配当金	△129	△153
支払利息	138	167
為替差損益(△は益)	111	△20
持分法による投資損益(△は益)	△182	△152
固定資産除却損	179	110
固定資産売却損益(△は益)	△1	△3
売上債権の増減額(△は増加)	1,211	1,162
棚卸資産の増減額(△は増加)	200	△1,740
その他の資産の増減額(△は増加)	△76	△40
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,720	△2,063
その他の負債の増減額(△は減少)	△470	△308
未払又は未収消費税等の増減額	△103	△440
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	4
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△72	△112
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	88	42
その他	65	△9
小計	4,135	973
利息及び配当金の受取額	129	152
利息の支払額	△144	△150
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△937	△552
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,183	422
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,659	△2,270
有形固定資産の売却による収入	1	3
投資有価証券の取得による支出	△0	△61
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△55	83
長期貸付金の回収による収入	315	315
その他	△171	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,570	△2,094

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△0	△0
長期借入金の返済による支出	△3,110	△2,824
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△387	△436
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,511	△3,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△111	20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,009	△4,928
現金及び現金同等物の期首残高	10,670	9,005
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,661	4,076

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,941	2,805	53,747	1,825	55,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	6,561	6,561
計	50,941	2,805	53,747	8,387	62,134
セグメント利益	2,555	314	2,869	235	3,104

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,869
「その他」の区分の利益	235
セグメント間取引消去	18
固定資産の調整額	5
その他の調整額	△2
中間連結損益計算書の営業利益	3,126

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	48,196	2,803	51,000	2,052	53,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	6,710	6,710
計	48,196	2,803	51,000	8,762	59,763
セグメント利益	879	250	1,130	202	1,332

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,130
「その他」の区分の利益	202
セグメント間取引消去	20
固定資産の調整額	7
その他の調整額	△5
中間連結損益計算書の営業利益	1,355

(重要な後発事象)

該当事項はありません。